

学校番号	72	学校名(課程)	木曽青峰 高等学校(全日制)
------	----	---------	----------------

(様式1)

平成30年度入学生 キャリア教育全体計画

1 全体目標

○ 望ましい勤労観、職業観を育み、自らの未来を切り拓いていける生徒を育成し、それぞれの進路希望の実現をはかる。

2 現状・課題

県外への進学者が多数を占める中で、地元に戻る者が極めて少ないのが現状である。地域の発展のためにも地元企業の魅力を高校在学中に理解する機会が必要。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- ア 自己の在り方、生き方を考え、将来設計に取組む力
- ｂ 卒業後の進路を選択し、それを実現できる力
- ｃ 社会的・職業的自立に必要な基礎力 【基礎的・汎用的能力】
 - ｃ１ コミュニケーション力
 - ｃ２ 自他の理解力
 - ｃ３ 課題探求力
 - ｃ４ キャリアプランニング力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。生徒にも意識させる。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。 ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②, ③〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に生かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。〈②, ④〉 キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。 〈②, ③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の発見・解決、プレゼンテーション、ディベート等双方向型、協働型の活動を導入 ・内容を、身近な事や物と関連づけ ・各種検定を通して具体的な学習目標を見つける。

総合的な学習の時間 (学習係と共催)	〔1〕＜1 年次の活動＞ ・職業調査・職業人インタビュー 「働くとは？」という観点で勤労観・職業観を育成する ・地元企業調べ学習 ・新聞記事の書き取り・感想文等を通した小論文指導 社会事象に対する情報収集と分析を通して、自己の考えをまとめ表現する力を育成。 ・キャリアガイダンス講演会（外部講師） 高校におけるライフプランニングについて講演 〔2〕＜2 年次の活動＞ ・学問（学部・学科）調査 1 学期中に行い、夏期休業中のオープンキャンパスにつなげる。 ・進路実現のための講演会 「進学と就職について」「進路実現のための課題」等 ・小論文研究と添削、評価 ・第一志望選択指導と志望理由書講座
総合的な学習の時間 (学習係と共催)	〔3〕＜3 年次の活動＞ ・志願理由書、面接の練習 ・上級学校研究、企業研究、企業見学の実施 ○特別活動（HR活動内で主に指導する） 〔1〕＜1 年次の活動＞・・・可能性の探索 ・新入生指導（高校生活オリエンテーション・社会人に要求されるマナー学習） ・SSTの実施。（コミュニケーション能力の育成）…生徒相談係と連携 ・2 年次選択科目や「コース」の研究 〔2〕＜2 年次の活動＞・・・可能性の吟味 ・3 学年次の選択科目の研究 〔3〕＜3 年次の活動＞・・・選択・決定・実行 ・進路実現に向け具体的に行動。・学力試験、面接試験への対応
特別活動 (HR活動内で主に指導する)	〔1〕＜1 年次の活動＞・・・可能性の探索 ・新入生指導（高校生活オリエンテーション・社会人に要求されるマナー学習） ・SSTの実施。（コミュニケーション能力の育成）…生徒相談係と連携 ・2 年次選択科目や「コース」の研究 〔2〕＜2 年次の活動＞・・・可能性の吟味 ・3 学年次の選択科目の研究 〔3〕＜3 年次の活動＞・・・選択・決定・実行 ・進路実現に向け具体的に行動。・学力試験、面接試験への対応

校外の体験活動	〔1〕赤沢自然休養林ボランティア活動：1年次の地域学習として行う。 ・木曽森林管理署、木曽森林環境保全ふれあいセンター、等の協力体制。 〔2〕進路体験旅行：1年次の12月（2年修学旅行時）に計画 ・事業所と上級学校において、希望者別に体験学習を行う。 ・上級学校ではできるだけ実験実習に参加する機会や卒業生の進路講話を含める。 ・事業所ではできるだけ体験学習を企画する。事業所の選定、手続きは学年が行う。 ・進路係は卒業生のいる上級学校を提示し、学年で選考する。手続きは担当学年の進路係が行う。 〔3〕県内進路見学会：2年次の5月（中間考査の翌日）に計画 ・地域学習の一環として行う。 ・分野別に希望をとり、体験学習を行う。 ・手続きは担当学年の進路係が行う。 〔4〕オープンキャンパス・事業所見学：開催日、または長期休業中 ・説明会、卒業生との懇談、等を通し、レポート作成する。 〔5〕夏期休業就業体験：2年次の夏期休業に行う。 ・ずく出せ就業体験、看護体験、福祉施設体験、等を用いてのインターンシップ。 ・ジョブシャドウイングによる職業体験。 ・キャリア教育コーディネーター（2年副担任）がすすめる。 ・条件によって単位認定制度がある。
地域や産業界等との連携	〔1〕木曽町企業見学：普通科、理数科を対象に1年次の夏期休業中に計画 ・木曽町（郡内）企業への見学、もしくはプレゼンテーションを実施。 〔2〕進路ガイダンス：3月卒業式翌日に計画 ・地元企業人、大学・短大・専門学校教授、卒業生を招き、分野別の体験授業を行いレポート作成する。 ・1，2年次で計4分野を選択可。 ・進路指導係が立案、全校職員で実施する。 〔3〕進路別ゼミ・研究会：進路係と学年団の判断で必要に応じ最適な機会に行う。 ・同じ方面の希望者をグループ化し、進学先や希望分野ごとの情報入手の場にする。 ・校内の講師のほか、外部講師を招いたレクチャーを計画する。
評価	・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 （指導の継続性）	・中高連絡会の開催 ・中学校との授業研究交流（研究授業参観と研究会情報交換会）
校内の推進体制	<pre> graph LR A["進路指導係 ・進学担当 ・就職担当 ・キャリア教育コーディネーター"] <--> 連携 B["学習指導係 (総合学習)"] B <--> 計画 C["各学年 1 学年 2 学年 3 学年"] A -- "資料の提供、準備、実施への協力" --> C C -- "体験学習" --> D["・卒業生・事業所・上級学校"] E["就業体験 ガイダンス"] --> D </pre>

4 学年別指導計画（表1）

	1 年	2 年	3 年
目 標	○基本的な生活習慣の確立 ○目標とする進路を考え、ライフプランの作成に着手。	○体験を通じてキャリア意識を確立する。	○生徒各自に対応した進路活動を行い自己実現にむけた進路を探究する。
主 な 取 組	○身だしなみ、挨拶、清掃、マナーを指導 ○進路ガイダンス	○就業体験または体験入学の全員実施 ○進路ガイダンス	○企業訪問、学校訪問 ○受験

評価	・面接 ・アンケート(取組の事前、事後) ・意識調査(年度当初、年度末) - 生徒意識調査(県教委)	・面接 ・アンケート(取組の事前、事後) ・意識調査(年度当初、年度末) - 生徒意識調査(県教委)	・面接 ・アンケート(取組の事前、事後) ・意識調査(年度当初、年度末) - 生徒意識調査(県教委)
----	---	---	---

(表2) *就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教科	総合的な学習の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1年	4 理科の学習と社会と関わりの意識付けの導入 全学科 音楽 校歌練習 全学科 家庭基礎 食生活 理数普通科 家庭総合 家庭経済 専門科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み	・高校生活オリエンテーション(生活・学習) ・地域学習Ⅰ - 講話「木曾の林業と自然」 ・地域学習 「赤沢自然休養林」見学と自然保護ボランティア活動 外部講師を招く ・進路学習 「キャリアガイダンス」実施 ・仕事研究(地域の産業と職業調べ) ・男女共同参画講演会(外部講師を招く) ・地域学習Ⅱ - 木曾をテーマに歴史文化自然等の研究調査発表	・マナー学習 ・適性検査 ・学習調べ ・赤沢自然休養林にて体験、ボランティア活動 ・卒業生進路講話(専門科) ・職業/キャリア指導 ・文化祭準備	
	6 家庭基礎 家庭総合 衣生活 7 実用英語検定の取り組み 全学科			・文化祭での展示
	夏休み コミュニケーション英語Ⅰ ことわざ名言を知って生き方についてレポート提出 理数 普通科		・職業/キャリア実施 ・補習授業	
	9 数学Ⅰ「データの分析」 高卒大卒の就職状況等データを使用しでの学習 全学科 現代社会 社会権 全学科 家庭総合 保育 専門科 実用英語検定の取り組み 全学科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 音楽器楽アンサンブル 全学科 10 家庭基礎 家庭経済 理数普通科 11 住生活 家庭総合 家族・家庭 専門科 12 高校大学連携講座 理数科	・進路学習Ⅰ 「自己理解、文理選択」	・進路適性検査 ・2年次の科目選択について ・SST実施コミュニケーション力育成 ・学校、企業見学(進路希望別で名古屋方面)	・面接による指導
1年	1 家庭基礎 支えあって生きる 理数普通科 2 専門科展学習内容の発表と地域社会人との交流 専門科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 3 河川学習発表会 森林環境科Ⅰ SO14001講習会 専門科 春休み	・職業研究 ・キャリア講座校内 ・進路ガイダンス実施(外部講師や卒業生を招き、希望進路毎に分散会を実施。)	職業研究 校内進路ガイダンス	・職業研究 ・生徒意識調査(県教委)
		・1学年の学習のまとめ		
	4 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 5 家庭総合 食生活 専門科 7 実用英語検定の取り組み 全学科 夏休み コミュニケーション英語Ⅱ 英語の使われている職業または英	・進路学習Ⅰ「小論文に挑む」 ・「職業案内冊子」によるキャリア学習	・マナー学習 ・県内地域学習、大学企業見学研修 ・卒業生進路講話(専門科) ・補習授業	・巡回指導 ・レポートの提出

	語に関するレポート提出 理数 普通科	「ずくだせ修行」 「福祉体験」「看護体験」 体験入学：オープンキャンパス 報告書作成、提出		
	9 高校大学連携講座 理数科 実用英語検定の取り組み 全学科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 10 家庭総合 保育 専門科 12	・進路学習 講演 「進路選択に関して」 外部講師を招く ・地域学習 外部講師を招く	・職業適性検査 ・3年次科目選択準備 ・修学旅行 ・修学旅行事後指導	・面接による指導
	1 課題研究発表会 理数科 家庭総合 住生活 専門科 2 専門科展 学習内容の発表と地域 社会人との交流 専門科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 3 チェーンソー特別教育（総合実習） 森林環境科 春休み	・小論文指導 ・キャリア講座 ・校内進路ガイダンス実施 (外部講師や卒業生を招き、 希望進路毎に分散会を実施。)	・センターチャレンジ ・校内進路ガイダンス	・生徒意識調査(県教委)
	4 課題研究 生物活用 木曽幼稚園との交流を通じ企画力 と社会性を身に付ける。 専門科 年3回の交流会 総合実習 建設業協会との丁張り実習 森林環境科 音楽合唱器楽アンサンブル等を通 じてコミュニケーション力の育成 選択全学科 国語総合 理数普通科 教養基礎 専門科 漢字検定の取り組み 7 政治経済 労働問題 全学科 実用英語検定の取り組み 全学科 夏休み	・小論文リポート作成 ・進路講演会 「進学・就職について」 ・進路講演会 「進路実現のための課題」 ・地域学習 ・ボランティア活動 (地域清掃活動) ・男女共同参画講演会 (外部講師を招く) ・進路研究Ⅲ ・志願理由書作成、面接実施の実践	・就職、進学ガイダンス ・地域学習研修 ・卒業生進路講話（専門科） ・会社見学	
3 年		・上級学校研究・企業研究	・出願先決定 ・就職試験補習 ・志願理由書作成	
	9 12	・実践 入試問題研究 小論文研究 面接研究 ・総合学習のまとめ	・就職試験 センター出願指導 ・大学入試センター試験出願 ・人権教育学習 ・進路個別指導 小論文指導 ・推薦入試 センター試験指導	・生徒意識調査(県教委)
	1 地理 労働問題 人口問題 普通・理数科 課題研究発表会 専門科 3	・労働講座 ・就職講座	・大学入試センター試験 ・大学出願指導	